

くくりわなの試験結果について

第一回試験（実際の捕獲を行わない試験）

1. わなの設置について

■設置期間：平成 20 年 10 月 23 日～28 日の 6 日間

■設置場所：苔道柵わき（5 基）、中道上（6 基）

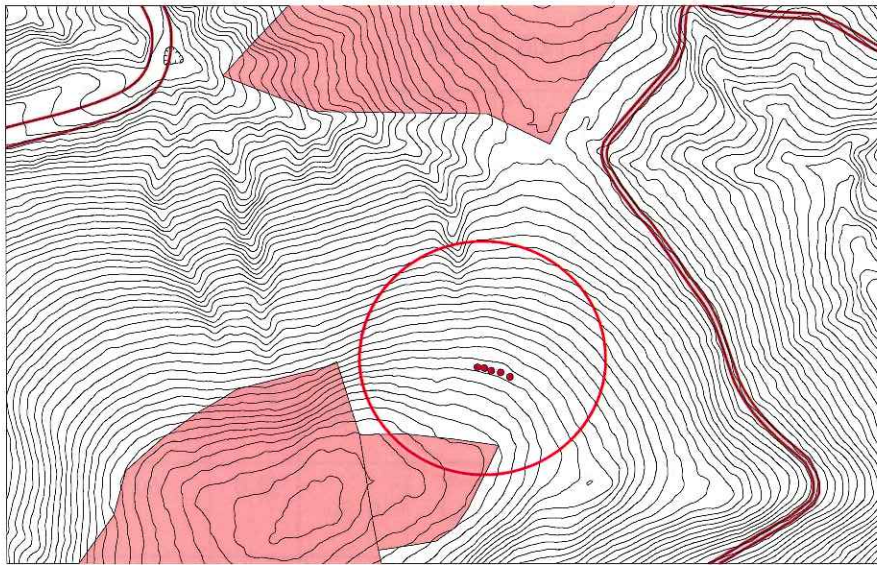


図 1 苔道柵わきに設置したくくりわなの位置

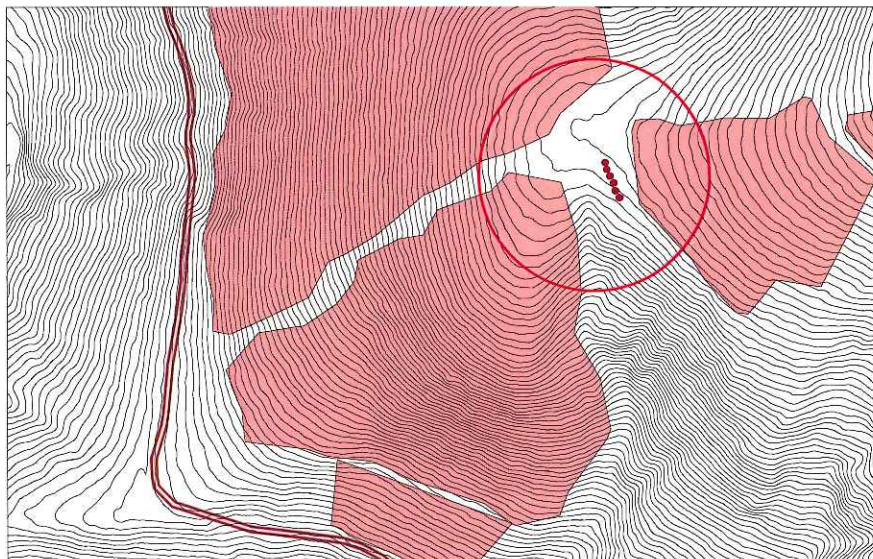


図 2 中道上に設置したくくりわなの位置

■監視方法：無線により常時監視するほか、自動撮影カメラで作動状況を記録。また、一日一度の見回りを実施。

2. わなの作動状況

■苔道柵わき

日時	くくりわな番号※1					平均作動率	天気	シカの撮影枚数
	①	②	③	④	⑤			
10月23日 14:30	設置	設置	設置	設置	設置		豪雨	—
10月24日 11:30	○	○	×	○	○	0.80	小雨	0※2
10月25日 9:00	○	○	○	○	×	0.80	曇り	167
10月26日 14:00	○	○	×	○	×	0.60	小雨	82
10月27日 15:30	○	×	○	×	×	0.40	曇り	59
10月28日 16:00	○	○	×	○	○	0.80	曇り	50
作動率	0.83	0.67	0.33	0.67	0.33			

※1 くくりわな番号：山側に向かって左から付番

※2 自動撮影カメラにシカ個体は撮影されていなかったため、感度をLoからHiに変更。

■中道上

日時	くくりわな番号※1						平均作 動率	天気	シカの撮 影枚数
	①	②	③	④	⑤	⑥			
10月23日 10:30	設置	設置	設置	設置	設置	設置		豪雨	—
10月24日 14:00	○	○	○	○	×	○	0.83	小雨	0※2
10月25日 11:00	×	×	×	×	×	×	0.00	曇り	0
10月26日 15:00	×	×	×	×	×	×	0.00	小雨	0
10月27日 11:00	○	○	○	○	○	○	1.00	曇り	176
10月28日 14:00	○	○	○	×	○	○	0.83	曇り	118
作動率	0.38	0.43	0.43	0.29	0.29	0.43			

※1 くくりわな番号：山側に向かって左から付番

※2 自動撮影カメラにシカ個体は撮影されていなかったため、感度をLoからHiに変更。

3. 試験によって明らかになった課題

①オスの捕獲の可能性

くくりわなは選択的捕獲が難しく、今回のわな設置場所に取り付けた自動撮影カメラでもオス、メスともに撮影された。効率的な個体数調整では、メスの捕獲が望まれるが、くくりわなではメスを優先して捕獲することは難しい。

②わなの設置場所

今回使用したタイプのくくりわなの設置には、一定の形に穴を掘ることができることが条件となる。今回くくりわなを設置した場所は粘土質の土壌で覆われた場所を選択したが、ササの根や、樹木の根、礫によって作業が難航した。今後、くくりわなを増設する等、設置場所を多様化する際、同タイプのわなでは礫が多い場所での設置は困難であることから、安全性を前提に別のタイプのわなの使用を検討する必要がある。

(参考) 現場の写真

○苔道柵わき



○中道上



第二回試験（実際の捕獲を伴う試験）

1. わなの設置について

■設置期間：平成20年12月1日～10日の10日間

■設置場所：苔道柵わき（①10基）、中道上4カ所（②11基、③④⑥10基）、中道下（⑤10基）

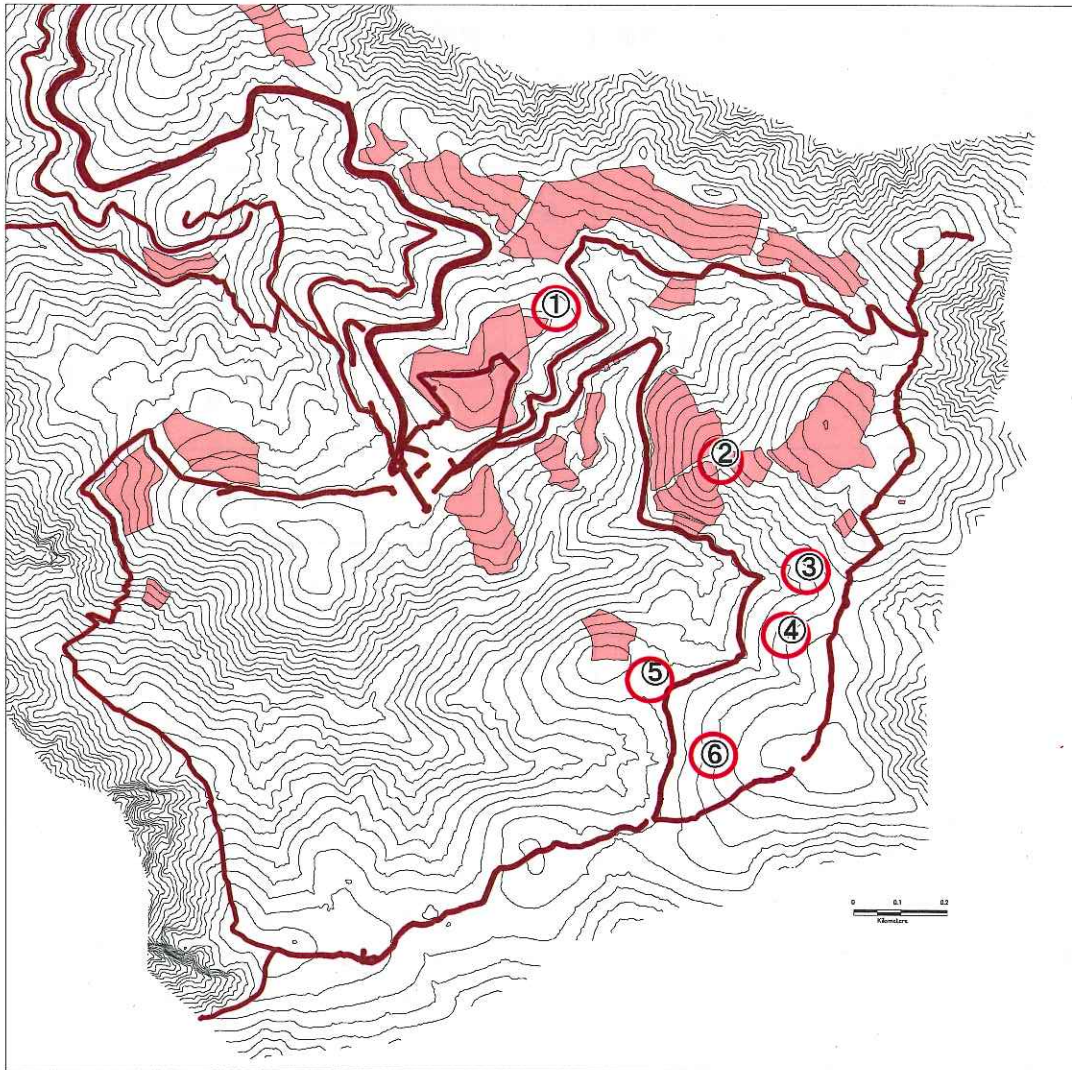


図3 くくりわな設置位置

■監視方法：無線により常時監視するほか、自動撮影ビデオで作動状況を記録。また、一日一度の見回りを実施。

2. わなの作動状況

日時	くくりわな設置位置ごとの捕獲数						平均 作動率 (頭/箇所)	天気	シカの 撮影
	①	②	③	④	⑤	⑥			
12月1日	設置	設置 1	設置	—	設置	—	0.25	晴れ	4/4
12月2日	0	0	0	設置	0	設置	0.00	晴れ	5/6
12月3日	0	0	0	1	0	1	0.33	晴れ	3/6
12月4日	0	0	0	0	0	0	0.00	晴れ	4/6
12月5日	1	0	0	0	0	0	0.17	豪雨	4/6
12月6日	0	1	0	0	0	1	0.33	雪	4/6
12月7日	0	1	1	0	1	0	0.50	晴れ	5/6
12月8日	0	1	0	1	0	1	0.50	晴れ	5/6
12月9日	0	0	1	1	0	1	0.50	雨	4/6
12月10日	0	0	0	0	0	0	0.00	雨	2/6
捕獲数	1	4	2	3	1	4			
作動率	0.10	0.40	0.20	0.33	0.10	0.44			

3. 試験によって明らかになった課題

①わなへの警戒

自動撮影ビデオカメラでは、わな設置前半は、わなに対する警戒は確認できず、自動撮影ビデオカメラへの警戒のみが確認された。わな設置後半では、わな付近への接近を避ける行動が確認された。わなによる捕獲に対する学習の可能性が推察された。

②わなの設置基数

今回のわなの設置方法は、それぞれの設置箇所に約10基のわなを密集させて設置した。くくりわなの設置に当たっては、目標捕獲頭数に応じて十分な基数を確保する必要がある。しかし、同一箇所に密集してくくりわなを設置した場合、シカがわなにかかったあと、シカが暴れて複数のわなのワイヤーが絡まり、よりもどし器具の効果がなくなってしまう。場合によってはワイヤーが切断されてしまう等の問題もあるため、1カ所あたりのわなの数を少なくするか、わなの設置間隔を十分に開ける必要がある。

また、くくりわなによる捕獲を評価するため、今回は作動率として箇所数あたりの捕獲数を出しているが、捕獲効率の算出方法については検討が必要である。

③植生への影響

今回の試験では、シカがわなにかかった後、長時間放置せずに止め差しを行った。その際、くくりわな周辺の植生の荒廃が明確に確認されることはまれであった。ただし、ワイヤー長が比較的長くなってしまった場合には植生の荒廃が確認された。

今後、植生の荒廃を考慮して実施する際、止め差しまでの時間を短くすること、ワイヤー長を可能な限り短くする必要がある。



図 4 荒廃した場合のわな付近の植生